

## 株式のご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日

期末配当金  
受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金  
受領株主確定日 毎年9月30日

定時株主総会 毎年6月

公告方法 電子公告の方法により行います。  
公告掲載URL (http://www.presskogyo.co.jp)

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
TEL:0120-232-711 (通話料無料)

上場取引所 東京証券取引所第一部

証券コード 7246

単元株式数 100株

### 【株式に関するお手続きについて】

#### ● 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取(買増)請求 ・住所・氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定※	特別口座の 口座管理 機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料) 【手続書類のご請求方法】 ・音声自動応答電話によるご請求 TEL:0120-244-479 (通話料無料) ・インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	

※特別口座に記録された株式を所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

#### ● 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	にお問合せください。

市区町村から通知されたマイナンバーは、  
株式の税務関係のお手続きで必要となります。  
このため、株主様からお取引の証券会社等へ  
マイナンバーをお届出いただく必要がございます。

#### ■ 株式関連業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様の  
マイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。

#### ■ マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
➔ お取引の証券会社
- 証券会社とのお取引がない株主様  
➔ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-232-711 (通話料無料)

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **7246**

いいかぶ

検索



#### 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

#### ● アンケート実施期間は、本書がお手元に 到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主  
リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細  
http://www.a2media.co.jp) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させ  
ていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

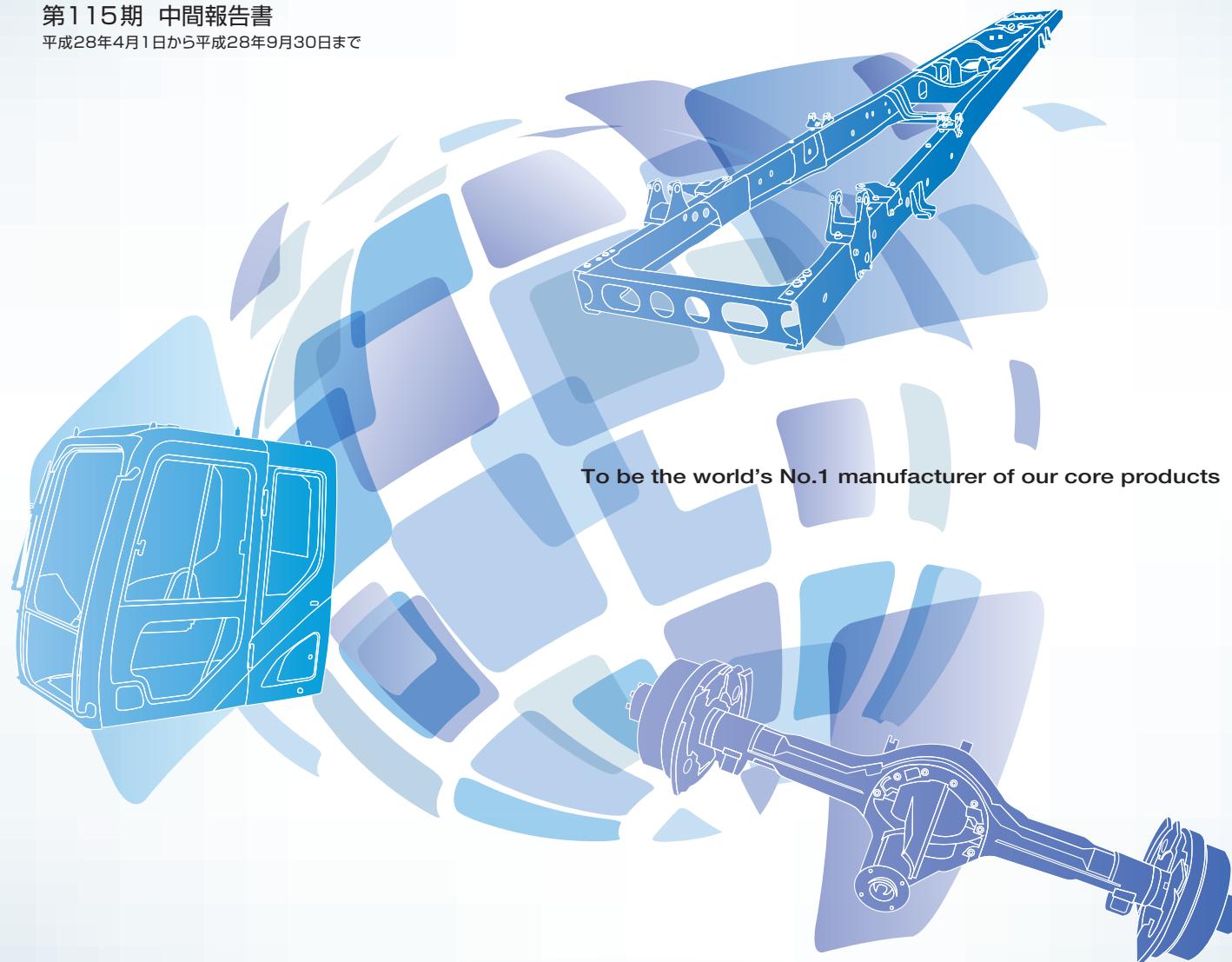
● アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

# PRESS KOGYO

## 株主通信

第115期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



To be the world's No.1 manufacturer of our core products

## PRESS プレス工業株式会社

〒210-8512 川崎市川崎区塩浜一丁目1番1号  
TEL:044-266-2581(代表) FAX:044-276-3934  
http://www.presskogyo.co.jp

## PRESS プレス工業株式会社

証券コード:7246



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第115期第2四半期(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の業績につきましてご報告させていただきます。

代表取締役社長

角堂 博茂

## 当第2四半期の業績の概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの国内事業環境は、以下の通りであります。

自動車関連事業につきましては、普通トラックの国内需要は、物流等の堅調な需要に支えられ、前年同期比3.5千台増の45.8千台となりましたが、輸出は、前年同期に比べ減少しました。小型トラックの国内需要は、前年同期比2.0千台増の48.7千台となりました。

建設機械関連事業につきましては、油圧ショベルの国内需要は、前年同期に比べ減少し、輸出も伸び悩みました。

海外の事業環境は、次の通りであります。

タイ：1tピックアップトラックのタイ国内需要は、緩やかな経済の回復により、前年同期に比べ増加し、輸出も増加しました。

米国：自動車需要は、前年同期と同水準となり、ピックアップトラック・SUVは堅調に推移しました。

中国：建設機械の国内需要は、前年同期と同水準となりました。

インドネシア：通貨安・資源価格低迷等が続いており、自動車需要は低調に推移しました。

欧州：自動車需要は、前年同期と同水準となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は890億78百万円(前年同期比11.2%減)となり、営業利益は43億6百万円(前年同期比15.1%減)、経常利益は33億48百万円(前年同期比29.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億26百万円(前年同期比25.6%減)となりました。

## セグメント別の業績

### ●自動車関連事業

当社グループの普通トラック・小型トラック用部品の生産は、国内向けは増加したものの、輸出向けは減少し、共に前年同期に比べ減少しました。

海外子会社の状況は、次の通りであります。

タイ：TSPKKグループの生産・販売は、車型・仕向地拡大の効果もあり増加しましたが、

円高の影響により換算後の売上高は、前年同期に比べ減少しました。

米国：PK U.S.A.,INC.の生産は、ピックアップトラックやSUV向けが堅調に推移しました。新規受注製品の生産準備が一段落したことによる金型治具等の減少や円高の影響により、換算後の売上高は前年同期に比べ減少しました。

インドネシア：中・小型トラック用フレームは、引き続き厳しい状況が続いております。

欧州：PRESS KOGYO SWEDEN ABの売上高は、輸出向け製品が伸び悩み、前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は774億55百万円(前年同期比12.2%減)となり、セグメント利益は58億40百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

### ●建設機械関連事業

当社の生産は、北米・欧州向けが安定したことにより、前年同期に比べ増加しましたが、当社子会社協和製作所の生産は、鉱山機械需要等の減少や建設機械メーカーの現調化等により、前年同期に比

べ減少しました。  
 海外子会社の状況は、次の通りであります。  
 中国：当社子会社蘇州普美駕駛室有限公司(PM CABIN MANUFACTURING CO.,LTD.)の生産は、インドネシアからの移管や国内景気の底打ち感がみられたことにより、前年同期に比べ増加しましたが、円高の影響により換算後の売上高は前年同期に比べ減少しました。また、普莱斯工業小型駕駛室

(蘇州)有限公司(PRESS KOGYO MINI CABIN(SUZHOU) CO.,LTD.)の生産・売上高は、引き続き北米向けが好調だったことにより、前年同期に比べ増加しました。  
 以上の結果、当セグメントの売上高は117億95百万円(前年同期比3.9%減)、セグメント利益は2億80百万円(前年同期比508.5%増)となりました。

## 連結業績

### 売上高



### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



※業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますので承知おきください。

## 自動車関連事業

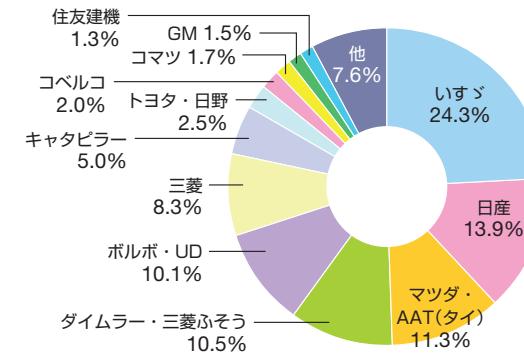


## 建設機械関連事業

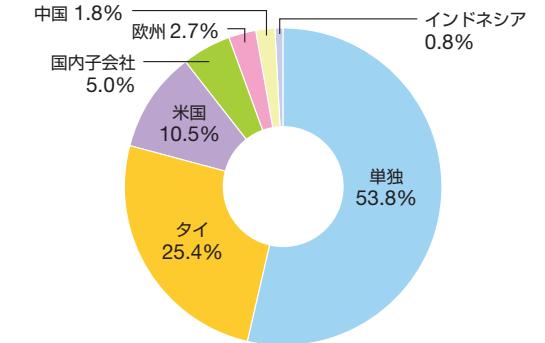


## 平成29年3月期第2四半期

### 【顧客別売上高構成】



### 【地域別売上高構成】



## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 第115期 (第2四半期) 平成28年 9月30日現在	期別 第114期 (第2四半期) 平成28年 3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	65,222	68,741
固定資産	84,030	88,775
有形固定資産	74,838	79,239
無形固定資産	835	1,044
投資その他の資産	8,356	8,492
<b>資産合計</b>	<b>149,253</b>	<b>157,517</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	49,164	52,258
固定負債	25,522	28,211
<b>負債合計</b>	<b>74,687</b>	<b>80,469</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	52,755	51,380
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,075	2,075
利益剰余金	43,807	42,433
自己株式	△1,197	△1,197
その他の包括利益累計額	18,570	20,779
その他有価証券評価差額金	1,591	1,528
土地再評価差額金	17,236	17,236
為替換算調整勘定	114	2,467
退職給付に係る調整累計額	△371	△452
非支配株主持分	3,240	4,887
<b>純資産合計</b>	<b>74,566</b>	<b>77,047</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>149,253</b>	<b>157,517</b>

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別 第115期 (第2四半期) 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	期別 第114期 (第2四半期) 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日
売上高	89,078	100,313
売上原価	78,485	88,780
売上総利益	10,593	11,533
販売費及び一般管理費	6,287	6,461
営業利益	4,306	5,071
営業外収益	154	175
営業外費用	1,112	504
経常利益	3,348	4,743
特別利益	266	4
特別損失	133	394
税金等調整前四半期純利益	3,481	4,353
法人税等	1,143	1,564
四半期純利益	2,338	2,788
非支配株主に帰属する四半期純利益	312	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,026	2,721

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別 第115期 (第2四半期) 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	期別 第114期 (第2四半期) 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,114	6,014
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,281	△3,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,724	△2,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	△413	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	694	449
現金及び現金同等物の期首残高	18,422	15,495
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,116	15,944

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS

## 1 監査等委員会設置会社へ移行いたしました

当社は、企業ビジョン【コア商品の世界NO.1の実現】に向けて、重要な業務執行の一部について、その決定を業務執行を担う取締役および執行役員へ委任することにより、より迅速・果敢な意思決定を行い、業務執行の効率性・機動性を高めるとともに、業務執行に対する監督機能をより強化するために、平成28年6月29日開催第114期株主総会の決議を経て、監査等委員会設置会社へ移行いたしました。

### 星野常勤監査等委員からのメッセージ



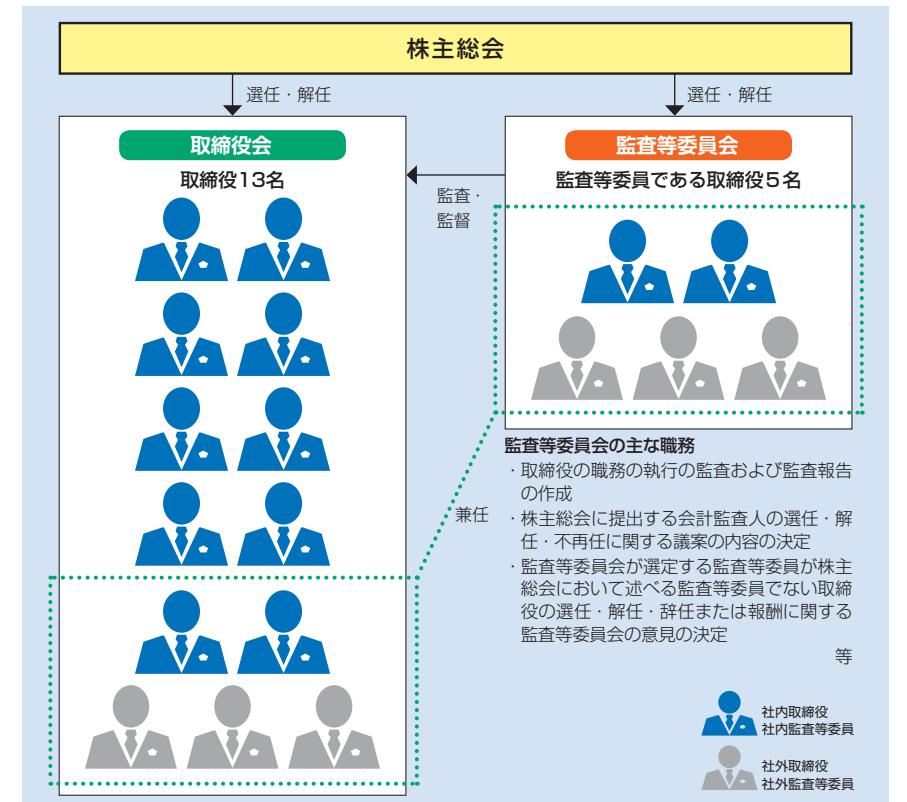
本年度より、監査役会設置会社から、監査等委員会設置会社へ、機関設計を変更致しましたが、私たち監査等委員の職責は従前同様、プレス工業グループの、健全で持続的な成長を確保し、社会的信頼に応える良質な企業統治体制を確立することにあります。

その目的に向かって、監査役と社外取締役の二つに分かれていた、会社の業務執行に関する監査・監督機能を、監査等委員会として一つに集約し強化を致しました。

今後は、豊富な経験と専門の知識を持つ社外監査等委員の方々の、客観的なご意見・ご指摘を頂きながら、協働で監査・監督を行い、企業価値の向上と、コーポレートガバナンスの一層の充実をはかってまいります。

### 『監査等委員会設置会社』

3名以上の取締役からなり、その過半数を社外取締役が占める監査等委員会を設置



TOPICS II 米国子会社 (PK U.S.A., INC.) を完全子会社化いたしました

当社は、平成28年5月にPK U.S.A., INC.の株式 (25%) を取得し、完全子会社化いたしました。



本社インディアナ工場

**PK U.S.A., INC.**

所在地：・インディアナ州  
 (本社、インディアナ工場)  
 ・テネシー州(テネシー工場)  
 ・ミシシッピ州(ミシシッピ工場)

資本金：49,100\$  
 設立年：1988年7月  
 出資比率：当社100%  
 事業内容：自動車部品の製造  
 主要取引先：日産・DANA・トヨタ・日野・スバル 他

TOPICS III オリジナルキャビンについて

尾道工場において、オリジナルキャビンを新たに開発いたしました。小型油圧ショベル向けの汎用的なデザインで、建設機械メーカーの違いを問わずに搭載が可能です。部品共通化や構造の簡略化による部品点数削減等により、従来キャビンに比べ約2割のコスト削減を達成しました。建設機械メーカー各社への提案を行い、既に1社からの受注が確定しました。今後も他メーカーからの受注を目指し、継続的に提案活動をしてまいります。

TOPICS IV 新規事業について

バイクガレージ

バイクガレージ『MOTO CELLAR』を12月に販売受付開始いたします。製品紹介動画も当社ホームページにて公開いたします。(http://www.presskogyo.co.jp/)



火山噴石シェルター

10月19～21日、東京ビッグサイトで開催された「危機管理産業展2016」に、『火山噴石シェルター』を出展いたしました。

【火山噴石シェルター特徴】

- 緊急避難用のシェルターでありながら普段は休憩所として利用可能
- ポリカーボネートを多用した明るく開放的なデザイン



TOPICS V 欧州事業について

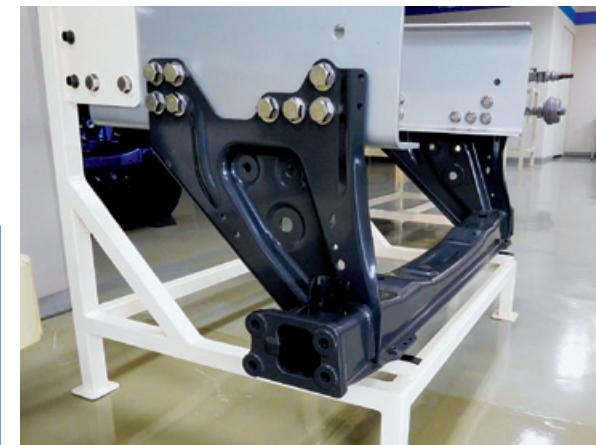
スウェーデンにおける当社子会社PRESS KOGYO SWEDEN AB (以下PK-S) では、主に商用車・農業機械向けのプレス部品を製造しており、主要取引先はVolvo、Ålö、Scania等です。特に近年では、積極的な拡販活動が実を結び、Scaniaへの売上比率が大きく上昇しています。また、内製化による付加価値の拡大、生産性向上活動を推進するとともに、産業機械製品のモデルチェンジに合わせて、新規製品の受注活動に注力しております。

本年度は、欧州メーカー向けFront Moduleを受注し、その生産を開始いたしました。



**PRESS KOGYO SWEDEN AB**

所在地：スウェーデン王国オスカーハム市  
 資本金：40,000千SEK  
 出資年：1992年5月  
 出資比率：当社100%  
 事業内容：自動車部品・農業機械用部品の製造  
 主要取引先：Volvo、Ålö、Scania、BT、Xylem他



量産開始となった欧州メーカー向けFront Module

TOPICS VI 陸上競技部がニューイヤー駅伝に出場いたします (8年連続8回目)

11月3日(木)に埼玉県にて行われた第57回東日本実業団対抗駅伝競走大会に当社陸上部が参加いたしました。

結果は11位となり、見事2017年元旦のニューイヤー駅伝の出場権を獲得いたしました。

今回で初出場より8年連続8回目の出場となり、さらなる飛躍に向け選手・スタッフ一丸となって挑戦してまいりますので、株主の皆様のご声援をよろしくお願い申し上げます。

2017年1月1日(日) 9時15分群馬県庁スタート





会社概要 (平成28年3月31日現在)

商号	プレス工業株式会社 PRESS KOGYO CO., LTD.
本店所在地	〒210-8512 川崎市川崎区塩浜1丁目1番1号 TEL 044-266-2581 (代表)
事業所所在地	川崎工場 (川崎市川崎区) 横浜事務所 (横浜市西区) 宇都宮工場 (栃木県下野市) 埼玉工場 (埼玉県川越市) 藤沢工場 (神奈川県藤沢市) 尾道工場 (広島県尾道市)
創立	大正14年2月16日
資本金	8,070,221,336円
従業員数	1,893名 (連結従業員数 6,295名)

主要な子会社 (平成28年9月30日現在)

- 株式会社協和製作所
- 尾道プレス工業株式会社
- 鋳金工業株式会社
- PK U.S.A., INC.
- PRESS KOGYO SWEDEN AB
- THAI SUMMIT PPK CO.,LTD.
- THAI SUMMIT PPK BANGPAKONG CO.,LTD.
- THAI SUMMIT PPK CORPORATION LTD.
- 蘇州普美駕駛室有限公司
- 普萊斯冲圧部件(蘇州)有限公司
- 普萊斯工業小型駕駛室(蘇州)有限公司
- PT. PK MANUFACTURING INDONESIA (他14社)

役員 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長 兼社長執行役員(CEO)	角堂 博茂	取締役(監査等委員)	原田 忠禮	上席執行役員	中山 雅一
代表取締役副社長 兼副社長執行役員(CTO)	高橋 正美	社外取締役(監査等委員)	山根八洲男	執行役員	唐木 剛一
取締役 兼専務執行役員(CFO)	齊藤 正人	社外取締役(監査等委員)	中川 治	執行役員	清水 勇生
取締役兼専務執行役員	池田 裕彦	社外取締役(監査等委員)	古里 健治	執行役員	新川 春正
取締役兼常務執行役員	美野 哲司	常務執行役員	中山 隆史	執行役員	増田 昇
取締役兼常務執行役員	村山 哲	常務執行役員	馬林 栄司	執行役員	大竹 正美
取締役兼常務執行役員	尾浪 和彦	上席執行役員	矢原 洋	フェロー	ピーター・サンドストロム
取締役兼常務執行役員	遠藤 徳明	上席執行役員	内田 正巳		
取締役(常勤監査等委員)	星野 克行	上席執行役員	二村 幸一		

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	114,007,210 株
株主数	7,157 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
いすゞ自動車株式会社	10,151	9.35
J P MORGAN CHASE BANK 385632	7,410	6.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,212	6.64
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE NVIO1	5,966	5.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,962	3.65
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	3,406	3.14
プレス工業従業員持株会	2,298	2.12
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	2,150	1.98
プレス工業取引先持株会	2,136	1.97
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,096	1.93

※1. 上記のほか、当社が保有している自己株式が、5,381,431株あります。  
 ※2. 持株比率は自己株式保有総数を控除して計算しております。

**コーポレートガバナンスに関する情報**

当社ホームページの投資家情報内にて、コーポレートガバナンスに関する資料(コーポレートガバナンス報告書、コーポレートガバナンスガイドライン)を掲載しております。是非ご覧ください。

<http://www.presskogyo.co.jp>

